



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東
コード番号 9365 URL
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 吉田 大介
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長 (氏名) 茨木 信弘 TEL 078-391-7170
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,824	△22.3	24	△14.8	135	0.9	93	△0.7
2023年3月期第1四半期	4,923	17.3	28	△53.8	133	△17.7	94	△19.6

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 283百万円 (367.3%) 2023年3月期第1四半期 60百万円 (△53.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	64.00	—
2023年3月期第1四半期	64.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	10,544	3,894	36.9
2023年3月期	10,425	3,680	35.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 3,894百万円 2023年3月期 3,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	△14.4	280	△36.8	420	△32.2	300	△42.1	204.89

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	1,470,000株	2023年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	3,653株	2023年3月期	5,831株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	1,464,895株	2023年3月期1Q	1,464,169株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことに伴う社会経済活動のより一層の正常化、インバウンド需要の回復等、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ウクライナ情勢の影響による世界的な物価高、各国の金融引き締め、円安のまま推移する為替相場等、世界経済の減速懸念がなかなか払拭されず、不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境としては、在庫調整、円安、物価高騰による消費者の節約志向等の影響により、輸出入の取扱量は低調な推移となりました。また、国際物流を担うコンテナ船による海上輸送においては、昨年の秋口以降の需給の緩みから、運賃の下落が続いており、同業他社との厳しい競争にさらされております。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりましたが、総取扱量は前年同期比7.4%減少し、国際部門の運賃の大幅な下落もあり、営業収入は前年同期比22.3%減の38億24百万円余（対前年同期10億99百万円余減）となりました。損益面につきましては、費用抑制の効果もあり、営業総利益は前年同期と同程度の2億18百万円余となりました。営業損益は、一般管理費の増加により、前年同期比14.8%減の24百万円余の利益（対前年同期4百万円余減）、経常損益は、持分法による投資利益が減少したものの受取配当金が増加したことにより前年同期比0.9%増の1億35百万円余の利益（対前年同期1百万円余増）となりました。このため、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期と同程度の93百万円余となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨の取扱いが増加したものの、化学工業品と機械機器製品が減少し、取扱量は前年同期比で微減となりました。しかしながら在庫調整等の影響で、自社倉庫での取扱量や取扱件数が前年同期比で減少したため、収益性が悪化し、輸出部門の営業収入は前年同期比9.1%減の6億21百万円余（対前年同期62百万円余減）、セグメント損失33百万円余（前年同期はセグメント損失16百万円余）の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品、繊維製品の取扱いが増加しましたが、雑貨が大きく減少し、取扱量は前年同期比8.9%減少となりました。その一方で、取扱件数と自社倉庫での保管料収入が前年同期比で増加したことから、輸入部門の営業収入は前年同期比3.2%増の12億60百万円余（対前年同期39百万円余増）、セグメント損失28百万円余（前年同期はセグメント損失31百万円余）の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、運賃水準が前年同期比で大幅に下がっていることや、取扱量が前年同期比8.4%減となったことから、営業収入は減収となりました。輸出においては、航空便案件の減少、北米市場の在庫調整に伴う三国間輸送が低調であったこと、輸入においては、航空便案件の減少、在庫調整やコロナ需要の一巡で取扱量が減少したことも減収要因となりました。その結果、営業収入は前年同期比36.1%減の19億1百万円余（対前年同期10億75百万円余減）となりましたが、費用抑制の効果もあり、セグメント利益は前年同期比15.2%増の70百万円余（対前年同期9百万円余増）の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同期比9.3%減の13百万円余となりました（対前年同期1百万円余減）。セグメント利益は前年同期比7.7%減の12百万円余（対前年同期1百万円余減）の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比1.7%増の28百万円余となり、セグメント利益は前年同期比43.2%増の2百万円余の計上となりました。

（注） 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入0百万円余を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億18百万円余増加し、105億44百万円余となりました。流動資産は1億14百万円余減の43億93百万円余、固定資産は2億33百万円余増の61億51百万円余であります。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金は増加しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、立替金の減少等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産等は減少しましたが、投資有価証券の増加によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ60百万円余減少し、45億29百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、34百万円余減少し、21億20百万円余となりました。流動負債減少の主な要因は、短期借入金、賞与引当金は増加しましたが、支払手形及び営業未払金、未払法人税等の減少等によるものであります。固定負債減少の主な要因は、繰延税金負債は増加しましたが、長期借入金、役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、2億14百万円余増加し、38億94百万円余となりました。これは、その他有価証券評価差額金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2023年5月11日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,357,891	1,780,803
受取手形、売掛金及び契約資産	1,821,771	1,438,000
立替金	1,198,044	1,058,286
その他	133,110	118,593
貸倒引当金	△3,406	△2,569
流動資産合計	4,507,410	4,393,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,055,160	1,056,571
機械装置及び運搬具（純額）	27,802	24,714
工具、器具及び備品（純額）	4,507	4,536
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産（純額）	85,114	74,912
有形固定資産合計	2,954,241	2,942,391
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	61,539	60,729
無形固定資産合計	96,099	95,289
投資その他の資産		
投資有価証券	1,458,488	1,741,062
差入保証金	774,388	774,289
その他	639,758	602,907
貸倒引当金	△4,435	△4,397
投資その他の資産合計	2,868,199	3,113,861
固定資産合計	5,918,541	6,151,542
資産合計	10,425,952	10,544,655

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,283,998	1,112,863
短期借入金	2,321,139	2,566,253
リース債務	44,885	41,466
未払法人税等	205,470	41,415
賞与引当金	300,618	416,151
その他	434,384	351,353
流動負債合計	4,590,496	4,529,504
固定負債		
長期借入金	1,828,210	1,786,562
リース債務	91,300	81,061
繰延税金負債	78,715	161,027
役員退職慰労引当金	97,882	56,967
退職給付に係る負債	46,507	22,592
その他	12,650	12,650
固定負債合計	2,155,267	2,120,861
負債合計	6,745,763	6,650,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	169,380
利益剰余金	2,453,115	2,473,559
自己株式	△11,646	△6,748
株主資本合計	3,346,895	3,371,191
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	401,412	587,531
為替換算調整勘定	20,084	23,209
退職給付に係る調整累計額	△88,203	△87,642
その他の包括利益累計額合計	333,292	523,098
純資産合計	3,680,188	3,894,289
負債純資産合計	10,425,952	10,544,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
営業収入	4,923,451	3,824,032
営業費用	4,705,283	3,605,556
営業総利益	218,167	218,476
一般管理費	189,693	194,227
営業利益	28,474	24,249
営業外収益		
受取利息及び配当金	91,801	109,783
持分法による投資利益	11,196	5,988
その他	17,491	19,925
営業外収益合計	120,490	135,697
営業外費用		
支払利息	15,160	14,079
その他	—	10,853
営業外費用合計	15,160	24,933
経常利益	133,803	135,013
特別利益		
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
固定資産除売却損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	133,833	135,013
法人税等	39,372	41,251
四半期純利益	94,461	93,761
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,461	93,761

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	94,461	93,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,856	186,119
退職給付に係る調整額	△3,446	561
持分法適用会社に対する持分相当額	8,527	3,124
その他の包括利益合計	△33,775	189,805
四半期包括利益	60,686	283,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,686	283,567
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫	計				
営業収入									
外部顧客への営業収入	683,546	1,221,004	2,976,804	14,880	4,896,236	27,215	4,923,451	—	4,923,451
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	660	660	△660	—
計	683,546	1,221,004	2,976,804	14,880	4,896,236	27,875	4,924,111	△660	4,923,451
セグメント利益又は損失(△)	△16,508	△31,997	61,645	13,639	26,778	1,695	28,474	—	28,474

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△660千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫	計				
営業収入									
外部顧客への営業収入	621,310	1,260,417	1,901,117	13,500	3,796,345	27,687	3,824,032	—	3,824,032
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	—	660	660	△660	—
計	621,310	1,260,417	1,901,117	13,500	3,796,345	28,347	3,824,692	△660	3,824,032
セグメント利益又は損失(△)	△33,592	△28,162	70,986	12,587	21,820	2,429	24,249	—	24,249

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△660千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。